

2026 神奈川公立高校共通選抜 入試分析 数学

～入試ではこう出る!!～

【主な特徴】

例年通り易しい基本問題で50点は取れる。そこを確実に解き、中難易度の応用問題が正解できればかなり高得点も狙えるが、図形の把握や条件の整理に慣れておく必要がある。

【出題形式】

問1:計算問題(5問)

例年通りの出題内容。基本的な計算問題ばかりなのでここは満点が絶対条件。

問2:小問集合(計算・文章題・図形など6問)

ここも例年通り、計算・関数・図形の基本的な問題ばかりなので満点を目指したい。

問3:応用問題(証明、資料の活用、平面図形、方程式の利用など5問)

(ア)のiiの線分の長さや(ウ)の面積の問題は難問なので後回し。資料の問題や文章題に先に取り組み、スムーズな条件整理をすることで早目に正解にたどり着きたい。

問4:関数(3問)

(ア)(イ)は例年通りの基本的な問題なので、素早く確実に解答したい。一方、(ウ)の面積の問題は今年も関数の知識や解法の技術だけではなく図形の知識も必要であり、解答までの手順も多いため難易度は高い。

問5:確率(2問)

【操作2】がうまく処理できれば、例年より解きやすい。

問6:空間図形(2問)

(ア)は例年通り基本的な問題である。(イ)の難易度はそこまで高くはないが、3辺の長さからそのうちの2辺が垂直に交わっていることを見抜けるかどうかがポイントである。

★入試問題に挑戦★

中1・中2でも解ける問題を集めてみました

問1 (ア) $-8 - 5$ (イ) $-\frac{2}{9} + \frac{3}{4}$ (ウ) $\frac{3x+y}{4} - \frac{2x-3y}{7}$ (エ) $27a^2b \times 4b \div 6a$

問2 (ア) 連立方程式
$$\begin{cases} 3x + 2y = 6 \\ \frac{1}{5}x - \frac{1}{4}y = 5 \end{cases}$$
 を解きなさい。

(エ) 自然数 a, b, c において、 b は a を2倍した数であり、 c は b を3倍した数である。 a と b と c の和が252であるとき、 a の値を求めなさい。

【入試に向けて】

- ・中1～3の学習内容において教科書レベルの例題や練習問題が確実に解ければ50点は超える！
基本問題を確実に解ける計算力を身に着けよう！
- ・30点分ぐらいは中難易度の問題。そこまで高い思考力を必要とはしないが、正解までの手順が多いので、素早く正確に解く計算力や条件の整理が出来ないと厳しい。過去問等で解法に慣れておく必要がある！！
- ・20点分ぐらいは超難問。配点も高いので出来れば解きたいが、高い技術や思考力が必要である。
無理に解こうとせず、別の解いた問題の見直しをすることも大切！！！



Heart&Hard

北進ゼミナール